

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	ボランティア演習				
担当者氏名	大隅 敏明				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

- ① ボランティア活動の意義、ボランティア先の探し方、実習の心構え、実習先でのコミュニケーションなどを講義において確認する。
- ② 各自で活動先を探して、実際にボランティア活動を行い、ボランティアの役割・倫理を実践的に学習する。
- ③ 実習体験を報告し、体験を自分の将来にどのように生かすかを考える。

《授業の到達目標》

ボランティア活動の意義やボランティアとしての役割・倫理・心構えについて、実践的に学習し、人生観・社会観を広げていく。

《成績評価の方法》

平常点70%
提出物30%

《テキスト》

使用しない

《参考図書》

必要に応じて資料を配布する。

《授業時間外学習》

学外・授業時間外での実習（ボランティア活動）が中心となる科目である。授業時間内でボランティア先の探し方や連絡方法は説明するが、実際にボランティア先を探し、連絡し、ボランティア活動を実践するのは受講者自身である。実習（ボランティア活動）を行う上で相談したいことが生じた場合は、授業時間外でも相談に応ずるので、研究室に来訪すること。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の説明 実習関係書類の作成方法
2	ボランティア体験報告会	今までのボランティア体験についての発表
3	ボランティア事前指導	実習の心構え 実習方法
4	ボランティア先での実習①	ボランティア活動の実践
5	それぞれのボランティア先での実習②	ボランティア活動の実践
6	それぞれのボランティア先での実習③	ボランティア活動の実践
7	ボランティア中間報告	ボランティア活動報告の作成と、全体報告会
8	それぞれのボランティア先での実習④	ボランティア活動の実践
9	それぞれのボランティア先での実習⑤	ボランティア活動の実践
10	それぞれのボランティア先での実習⑥	ボランティア活動の実践
11	それぞれのボランティア先での実習⑦	ボランティア活動の実践
12	ボランティア事後報告	ボランティア活動報告の作成
13	ボランティア報告発表準備	プレゼンでの発表準備
14	ボランティア報告会	プレゼンでそれぞれの活動を報告する
15	学習のまとめ	ボランティア実践を通して学んだことをレポートにまとめる